

事業名	会計事務 決算調製事務	実施計画掲載 区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	当該年度の予算執行状況の結果を明確にするるとともに、当該年度以降における予算執行の指針にすることを目的としています。		
	対象	その他 議会及び内部		
	内容	毎会計年度法令の定めるところにより歳入歳出予算について決算を調製し、証書類、歳入歳出決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書を市長に提出します。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 その他
	事業期間	恒常的	年度（ 年度）～ 年度（ 年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	地方自治法第170条
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H27	H28	H29	H30	R01
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		422 (1,242)	356 (1,136)	360 (1,160)	360 (1,170)	359 (1,179)	335 (1,155)
細事業費内訳	需用費	422	356	360	360	359	335
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	人件費	820	780	800	810	820	820
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	422 (1,242)	356 (1,136)	360 (1,160)	360 (1,170)	359 (1,179)	335 (1,155)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	会計事務 決算調製事務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H27	H28	H29	H30	R01	
指標	歳入歳出決算書	単位 横ばい	390	360	370	370	350	270
	出典: 担当課調査							
		単位						
	出典:							
		単位						
	出典:							

事業の効果	当該年度の歳入歳出予算執行状況の結果を明確にすることにより、当該年度以降における予算執行の指針とすることができました。
-------	---

令和 元年度の 実施内容	歳入歳出決算書・事項別明細書等を作成し、市長に提出しました。
-----------------	--------------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	歳入歳出決算書・事項別明細書等の作成	決算歳入歳出決算書・事項別明細書等の提出		

A. 必要性	●高 ○中 ○低
	法令の定めるところに従い、当該年度における歳入歳出執行予算執行の結果を明確にするために必要不可欠です。
B. 効率性	●高 ○中 ○低
	システムの活用により、決算書等の調製にかかる人件費以外の経費は印刷製本費のみに抑えています。
C. 運営方法	実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行
	法令により決算書等の調製は市が実施すべき事務事業です。
	実施方法 ●妥当 ○要改善
	法令により決算書等の調製は市が実施すべき事務事業です。
D. 成果	●高 ○中 ○低
	当該年度における歳入歳出執行予算執行の結果を明確にすることにより、市民等の信頼に応えています。
総合評価 今後の取組み	○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止 今後も法令に定められた決算書等の調製業務を適正かつ効率的に行っていくよう取り組みを進めます。
備考	

非投資的

001265

令和2年度事業評価シート（令和 元年度実施分）

総合計画 05 - 01 - 02
基本政策

[1/2]

事業名	会計事務 出納事務	実施計画掲載 区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	法令等を遵守し、適正な歳入歳出事務を遂行することで、公金管理の透明性を高め、市民の信頼を得ることを目的としています。		
	対象	その他 市民、事業者、国またはその他の自治体。		
	内容	市税、国および府からの補助金、諸収入などの収入事務、また、支出命令書による正当債権者への支払事務を行います。 指定金融機関等との連絡調整事務を行います。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	年度（ 年度 ） ～ 年度（ 年度 ）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	地方自治法第170条
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H27	H28	H29	H30	R01
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		39,096 (65,336)	18,580 (49,480)	20,606 (48,606)	20,557 (48,907)	19,829 (46,069)	35,562 (61,802)
細事業費内訳	需用費	0	0	24	0	0	0
	委託料	34,247	16,701	16,606	15,921	15,089	30,950
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	1,991	0	0	0
	その他	4,849	1,879	1,984	4,636	4,740	4,612
	人件費	26,240	30,900	28,000	28,350	26,240	26,240
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	39,096 (65,336)	18,580 (49,480)	20,606 (48,606)	20,557 (48,907)	19,829 (46,069)	35,562 (61,802)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	会計事務 出納事務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H27	H28	H29	H30	R01
指標	支払件数	600,000	609,126	640,689	540,895	565,422	595,447
	横ばい						
	出典: 担当課調査	件					
	支出命令書	83,000	84,108	83,788	76,546	77,585	76,211
	横ばい						
	出典: 担当課調査	枚					
金融機関検査	7	7	6	7	6	7	
横ばい							単位
出典: 担当課調査	回						

事業の効果	公金を適正に管理しています。
-------	----------------

令和元年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市税や国・府からの補助金などを収入する歳入事務、また、支出命令書により正当債権者へ支払う歳出事務を行いました。 指定金融機関との連絡調整事務を行いました。
------------	--

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	収入、支出事務	収入、支出事務 指定金融機関の交代	収入、支出事務	収入、支出事務 金融機関検査

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>市民等の貴重な財産であり、市の全ての事業経費でもある公金等を収納・支出するために必要不可欠です。</p>
B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>予算執行支援/金銭会計支援システムの活用により、効率的に事務が遂行されています。</p>
C. 運営方法	<p>実施主体</p> <p>●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>公金の収納・支出は市が実施すべき事務事業です。</p>
	<p>実施方法</p> <p>●妥当 ○要改善</p> <p>公金の収納・支出は市が実施すべき事務事業です。</p>
D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>公金等の適正な収納・支出により、市民等の信頼に応えています。</p>
総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>公金収納に際しての口座振替データ送受信方法について事業者が提供するシステムを活用することにより収納事務の効率化を目指します。</p>
備考	

事業名	会計事務 支出命令審査業務	実施計画掲載 区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	支出命令書等の審査を行うことにより公正性が担保され、予算執行に対する市民からの信頼を得ることを目的としています。		
	対象	内部		
	内容	支出命令書等について、当該支出負担行為が法令又は予算に違反していないこと及び当該支出に係る債務が確定していることを審査します。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	年度（ 年度 ） ～ 年度（ 年度 ）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	地方自治法第170条
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H27	H28	H29	H30	R01
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		10 (26,486)	5 (29,361)	12 (29,928)	16 (30,362)	9 (26,265)	10 (26,486)
細事業費内訳	需用費	10	5	12	16	9	10
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	人件費	26,476	29,356	29,916	30,346	26,256	26,476
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	10 (26,486)	5 (29,361)	12 (29,928)	16 (30,362)	9 (26,265)	10 (26,486)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	会計事務 支出命令審査業務	
所管部局・課	460100 会計課・会計課	

			当該年度目標値	H27	H28	H29	H30	R01
指標	支出命令書	単位	83,000	84,108	83,788	76,546	77,585	76,211
	出典: 担当課調査	枚						
		単位						
	出典:							
		単位						
	出典:							

事業の効果	法令等に準拠した公金の適正な支出を行っています。
-------	--------------------------

令和元年度の実施内容	支出負担行為の確認と支出命令書の審査を行いました。
------------	---------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	支出命令書等の審査・支出負担行為の確認	支出命令書等の審査・支出負担行為の確認	支出命令書等の審査・支出負担行為の確認	支出命令書等の審査・支出負担行為の確認

A. 必要性	●高 ○中 ○低
	法令等に準拠した公金の適正支出のために必要不可欠です。
B. 効率性	●高 ○中 ○低
	予算執行支援/金銭会計支援システムの活用により、効率的に事務が遂行されています。
C. 運営方法	実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行 審査事務は市が実施すべき事務事業です。
	実施方法 ●妥当 ○要改善 審査事務は市が実施すべき事務事業です。
D. 成果	●高 ○中 ○低
	公金の適正な支出により、市民等の信頼に応えています。
総合評価今後の取組み	○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止 今後も適正な公金支出に向けて、効果的な審査事務の遂行を目指します。
備考	

事業名	会計事務 所得税源泉徴収・納付事務	実施計画掲載 区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	所得税法に基づく給与等の支払者としての責務（源泉徴収義務）を果たすことを目的としています。		
	対象	内部		
	内容	市から支払われる報酬、謝礼金等にかかる所得税の源泉徴収及び納付並びに源泉徴収票の作成を行います。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	年度（年度）～年度（年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	所得税法第183条他
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H27	H28	H29	H30	R01
		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業推進のスケジュール							
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		13 (2,883)	12 (2,742)	11 (2,811)	11 (2,846)	15 (2,885)	11 (2,881)
細事業費内訳	需用費	12	12	11	11	15	11
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0
	人件費	2,870	2,730	2,800	2,835	2,870	2,870
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	13 (2,883)	12 (2,742)	11 (2,811)	11 (2,846)	15 (2,885)	11 (2,881)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	会計事務 所得税源泉徴収・納付事務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H27	H28	H29	H30	R01
指標	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						

事業の効果	所得税法に定められた源泉徴収義務者としての責務を果たすことにより、法令を遵守しています。
-------	--

令和元年度の 実施内容	市から支払われる報酬、謝礼金等に係る所得税の源泉徴収及び納付並びに源泉徴収票の作成を行いました。
----------------	--

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	源泉所得税の徴収・納付	源泉所得税の徴収・納付	源泉所得税の徴収・納付	源泉所得税の徴収・納付 源泉徴収票の作成

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>所得税法で定められた源泉徴収義務者としての事務であり、必要不可欠です。</p>
B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>源泉徴収サブシステムの活用により、効率的に事務が遂行されています。</p>
C. 運営方法	<p>実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>所得税法で定められているため、市が実施すべき事務事業です。</p>
	<p>実施方法 ●妥当 ○要改善</p> <p>所得税法で定められているため、市が実施すべき事務事業です。</p>
D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>所得税法で定められた源泉徴収義務者としての事務を遂行しています。</p>
総合評価 今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>今後も適正かつ効率的な源泉徴収事務を行っていくよう取り組みを進めます。</p>
備考	

事業名	会計事務 備品管理業務	実施計画掲載 区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	備品を適正に管理することにより、公有財産（備品）の管理に関する市民からの信頼を得ることを目的としています。		
	対象	内部		
	内容	備品台帳を整備します。不用車両の売却はインターネット公有財産売却システムの活用も含めた適切な手法で実施します。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	年度（ 年度）～ 年度（ 年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法第170条
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H27	H28	H29	H30	R01
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		95 (4,195)	164 (4,064)	181 (4,181)	762 (4,812)	46 (4,146)	21 (4,121)
細事業費内訳	需用費	15	1	14	0	22	15
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	80	164	166	762	24	7
	人件費	4,100	3,900	4,000	4,050	4,100	4,100
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	95 (4,195)	164 (4,064)	181 (4,181)	762 (4,812)	46 (4,146)	21 (4,121)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	会計事務 備品管理業務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H27	H28	H29	H30	R01
指標	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						

事業の効果	備品を適正に管理することにより、公有財産（備品）の管理に関する市民からの信頼を得られています。
-------	---

令和元年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備品台帳を整備しました。 ・ 不用備品を売却しました。
------------	--

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
実施状況	備品の登録及び抹消 不用備品の売却 資産台帳作成のためのデータ作成	備品の登録及び抹消 不用備品の売却 資産台帳作成のためのデータ作成	備品の登録及び抹消 不用備品の売却 資産台帳作成のためのデータ作成	備品の登録及び抹消 不用備品の売却

A. 必要性	●高 ○中 ○低
	物品の出納保管事務は法令で定められているため、必要不可欠です。
B. 効率性	●高 ○中 ○低
	備品管理支援システムの活用により、効率的に事務が遂行されています。
C. 運営方法	実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行 物品の出納保管は市が実施すべき事務事業です。
	実施方法 ●妥当 ○要改善 物品の出納保管は市が実施すべき事務事業です。
D. 成果	●高 ○中 ○低
	市民等の貴重な財産でもある備品等を適正に保管することにより、市民等の信頼に応えています。
総合評価 今後の取組み	○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止 今後も適正かつ効率的な備品管理を行っていくよう取り組みを進めます。
備考	

事業名	会計事務 備品管理支援システムの運用	実施計画掲載 区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	備品管理事務の適正かつ効率的な遂行を目的としています。		
	対象	内部		
	内容	統合型データベースと完全連動した備品管理支援システムの運用管理を行います。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	平成24年度（2012年度）～ 年度（年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法第170条
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H27	H28	H29	H30	R01
		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業推進のスケジュール							
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		542 (706)	829 (985)	1,093 (1,253)	3,128 (3,290)	536 (700)	540 (704)
細事業費内訳	需用費	0	0	0	0	0	0
	委託料	342	187	858	2,930	338	342
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	200	642	235	197	197	198
	人件費	164	156	160	162	164	164
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	542 (706)	829 (985)	1,093 (1,253)	3,128 (3,290)	536 (700)	540 (704)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	会計事務 備品管理支援システムの運用
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H27	H28	H29	H30	R01
指標	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						

事業の効果	備品管理支援システムを活用することにより、備品管理事務が適正かつ効率的に遂行できています。
-------	---

令和元年度の実施内容	備品管理支援システムの運用管理を行いました。
------------	------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	備品管理支援システムの運用	備品管理支援システムの運用	備品管理支援システムの運用	備品管理支援システムの運用

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>備品を適正かつ効率的に管理するために備品管理支援システムを活用しており、その運用管理に関する事務は必要不可欠です。</p>
--------	--

B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>当該システムを活用することにより、備品管理事務が効率的に遂行されています。</p>
--------	--

C. 運営方法	実施主体	<p>●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>当該システムの運用は、市が実施すべき事務事業です。</p>
	実施方法	<p>●妥当 ○要改善</p> <p>当該システムの運用は、市が実施すべき事務事業です。</p>

D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>当該システムの活用により、市民等の貴重な財産でもある備品等が適正に管理されています。</p>
-------	---

総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>今後も備品管理支援システムの効率的な運用管理を行っていきます。</p>
------------	--

備考	
----	--

事業名	会計事務 予算執行支援／金銭会計支援システムの運用	実施計画掲載 区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	財務会計事務の適正かつ効率的な遂行を目的としています。		
	対象	内部		
	内容	統合型データベースと完全連動した予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理を行います。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	平成24年度（2012年度）～ 年度（年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法第170条
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H27	H28	H29	H30	R01
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		3,788 (3,952)	5,747 (5,903)	3,532 (3,692)	1,217 (1,379)	1,757 (1,921)	1,274 (1,438)
細事業費内訳	需用費	0	0	0	0	0	0
	委託料	3,455	2,544	2,964	888	1,428	943
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	333	3,204	569	329	329	330
	人件費	164	156	160	162	164	164
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	3,788 (3,952)	5,747 (5,903)	3,532 (3,692)	1,217 (1,379)	1,757 (1,921)	1,274 (1,438)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	会計事務 予算執行支援／金銭会計支援システムの運用
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H27	H28	H29	H30	R01
指標	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						

事業の効果	予算執行支援／金銭会計支援システムを活用することにより、財務会計事務が適正かつ効率的に遂行できています。
-------	--

令和元年度の実施内容	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理を行いました。
------------	-------------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>適正な財務会計事務遂行のために予算執行支援／金銭会計支援システムを活用しており、その運用管理に関する事務は必要不可欠です。</p>
B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>当該システムを活用することにより、財務会計事務が効率的に遂行されています。</p>
C. 運営方法	<p>実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>当該システムの運用は、市が実施すべき事務事業です。</p>
	<p>実施方法 ●妥当 ○要改善</p> <p>当該システムの運用は、市が実施すべき事務事業です。</p>
D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>当該システムの活用により、市民等の貴重な財産であり、また市の全ての事業経費でもある公金を適正に出納保管しています。</p>
総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>今後も予算執行支援／金銭会計支援システムの効率的な運用管理を行っていきます。</p>
備考	

事業名	会計事務 資金管理業務	実施計画掲載 区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課	260100 財政課		

事業の概要	目的	市の公金の適正な管理（保管及び運用）を確保します。				
	対象	内部				
	内容	毎月下旬に翌月収支を作成することで、資金収支見通しを立て支払準備金を確保します。資金収支見通しに基づき、歳計現金や基金等について安全性を確保しながら効率的な運用を行います。				
	分類	自治事務	非投資的	種別	その他	
	事業期間	恒常的	年度（ 年度）～ 年度（ 年度）			
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
	関連団体					

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法第235条の4及び第241条
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市公金の管理に関する基本方針、豊中市公金管理基準、豊中市債券運用細則
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H27	H28	H29	H30	R01
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額	（）内は人件費、公債費を含む	9 (10,669)	1 (3,901)	7 (4,007)	7 (4,057)	10 (7,390)	9 (10,669)
細事業費内訳	需用費	9	1	7	7	10	9
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	人件費	10,660	3,900	4,000	4,050	7,380	10,660
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	9 (10,669)	1 (3,901)	7 (4,007)	7 (4,057)	10 (7,390)	9 (10,669)	
（）内は人件費、公債費を含む							
補助金 制度等	所轄官庁等						
	制度の名称等						
	補助率・補助額等						

事業名	会計事務 資金管理業務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H27	H28	H29	H30	R01	
指標	市預金利子 出典: 歳入歳出決算書	単位 円	2,000,000	10,982,824	4,556,540	2,885,405	3,269,316	2,560,705
	基金一時繰替日数 出典: 担当課調査	単位 日	90	126	242	290	82	49
	出典:	単位						

事業の効果	1. 安全性を確保して、元本割れを起こさないようにします。 2. 流動性を確保して、資金不足を起こさないようにします。 3. 上記1. と2. に努めたうえで、運用による収益を図ります。
-------	---

令和元年度の実施内容	支払準備金の確保と保管現金の安全かつ有利な運用を行いました。
------------	--------------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	・毎月下旬に翌月収支の作成 ・年度末の資金不足に備えて基金の一時繰替の調整 ・5月末の国庫補助金等の振込予定調査 ・出納整理期間中の基金の取崩及び新規積立に係る運用	・毎月下旬に翌月収支の作成 ・市税収入の増加時期に伴い歳計現金運用を順次実施 ・歳計現金の増加時期による基金の一部債券運用入札実施	・毎月下旬に翌月収支の作成 ・市税収入の減少時期に伴い歳計現金運用の順次取崩し ・歳計現金の減少時期による基金の預金への預け替え実施	・毎月下旬に翌月収支の作成 ・年度末の資金不足に備えて基金の一時繰替の調整 ・3月末の国庫補助金等の振込予定調査 ・年度末満期設定の基金の再運用 ・基金残高の新年度繰越

A. 必要性	●高 ○中 ○低 適正な財務会計の遂行のため支払準備金の確保や資金管理は必要不可欠です。
B. 効率性	●高 ○中 ○低 資金収支見通しを立て効率的に資金を管理しています。
C. 運営方法	実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行 資金管理は市が実施すべき事務事業です。
	実施方法 ●妥当 ○要改善 資金管理は市が実施すべき事務事業です。
D. 成果	●高 ○中 ○低 当事業により市民等の貴重な財産である公金を適正に管理しています。
総合評価今後の取組み	○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止 今後も適正かつ効率的な資金管理を行っていくよう取り組みを進めます。
備考	